

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	馴染みの人や場との関係継続の支援に関し、現状では、家族様、またはキーパーソンに当たる方への繋がりでしかない。	様々なネットワークを広げ、利用者の地域生活の継続的な支援に繋げる。	面会や、広報でのお知らせに限定せず、地域行事参加や見学、可能な限りの家族様、親戚の方を巻き込んだ施設行事などの計画。	H27.11～ 常時
2	6	身体拘束をしないケアの実践に係る職員間での学習が足りない。	一日のケアを振り返りながら、研修参加や職員学習の時間を設ける。	拘束とは何か…。または普段の利用者との関わり方から自己を振り返り、職員間で共有する。また、資料を基に拘束に対する意識を高める。	H27.11～ 常時
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。